

発行 平柴公民館
 発行人 新村次敏
 編集 文化部
 印刷 丸山印刷



平柴の皆様に感謝

区 長 西 村 和 栄

「平柴で楽しく暮らしたい」
 平柴の住民なら誰しもそう願っているのではないだろうか。

一方、少子高齢化、地域力の弱体化、人間関係の希薄化等が、平柴区を含め大多数の自治組織共通の課題ではないでしょうか。

こうした背景もあり、先に住自協主催による福祉関係団体合同研修会・地域ネットワーク会議に細野民生委員さんと参加しました。地域の不安、困りごと、課題等への対処法を探す機会となりました。内容を要約して紹介します。

一、高い高齢化率、一人暮らし、こどもが少ない等の少子高齢化の不安に、互いの声かけ、楽しみの創出、近所同士の挨拶が有効では。区長、民生委員、地域住民との交流等、横の連携

の強化も必要。

二、雪かき、ゴミ出し、草刈、樹木の管理等が困難という困りごとには、近所同士の協力、普段からの交流、お節介声掛け等が効果的。

三、災害時、避難時における高齢者、体の不自由な方、独居者等については、予めの応援体制の整備、個々の状況把握、定期的な避難訓練や行政との連携、区長等区役員との普段からの意思疎通が大切。

四、地区役員の「なりて」では、定年の延長、住民意識が希薄等の傾向が影響してか、地区役員を探すことが大変！、工事等要求するが、役は受けにくい：等の声に、役員になりやすい環境整備、意識改革・向上の醸成等が必要。

以上、掻い摘んで要点をまとめてみました。平柴区においても、参考となるものが多く、今後の区運営に反映してまいりたいと思います。

区長としての拙い経験ながら、私は信じます。まず、「出来る事を出来る処から」この積み重ねが結果に繋がることを。

(早速、「弥勒寺雪かきやってみ隊」が生まれました)。

個々での対処が難しい時、役職を超え協働すれば結果はついてくることを。

一人より二人：力が湧いてきます。

どうせやるなら、楽しくやりましょう！

(時には飲みながら…)

コロナ禍で、自粛・縮小が続いた行事も動き始め、秋には四年ぶりに敬老祝賀会を開催することができました。アトラクションを楽しみながら、参加者の久しぶりに顔を合わせた喜びに、弾ける笑顔が思い出されます。一歩踏み出すことに躊躇することなく、知恵を出し汗をかけた役員の皆様に感謝です。

この三年間、諸先輩方が築いてきた良き伝統を引き継ぎ、平柴が「昨日より今日・今日より明日」がより良い日である為に、と歩んだ心算です。区の活動に理解と応援を頂いた、平柴全ての皆様に感謝です。



交通安全・特殊詐欺について

安茂里交番所長 大久保 和 浩

平柴区の皆さん、こんにちは。

安茂里交番の大久保です。

安茂里地域では、令和二年の夏に小市の国道十九号で発生した死亡事故を最後に、約三年間、交通死亡事故の発生がありませんでした。

ところが、昨年の後半、二件の死亡事故が立て続けに発生してしまいました。

二件の事故は、

・十月二十日午後七時四十分頃 三幸軒前

・十二月二十六日午後五時十五分頃 小市の消防署前

で発生し、二件とも、

・日没後間もない時間帯の発生

・自動車の運転者から見て、右から左に渡ろうとした高齢の歩行者がはねられた事故

・近くに横断歩道があったにもかかわらず利用していない
・歩行者は夜光反射材等を非着用
というものでした。

一件目の事故が発生した直後、

安茂里住自協では、全戸に夜光反射タスキを配布して、交通事故防止の

ために利用を呼び

掛けてい

た中で、二件目の事故が発生してしまったことは、本当に残念

でなりません。

暗くなってから歩いて外出する時は、

交通安全「まみむめも」

を心にとめて行動し、交通事故防止に努めてください。

交通安全「まみむめも」とは、

「ま」…待つ。

しっかり止まって待つ。

「み」…見る。

左右の安全確認、車や相手の動きをしっかりと見る。

「む」…無理をしない。

車をやり過ぐす。

「め」…目立つ。

白っぽい服装、夜行反射材



(タスキ等)の活用

「も」…もしかして。

危険を予測。車が止まらな
いかも。

です。

また、車を運転するときは、

・スピードの抑制

・早めのライト点灯

・基本的にはハイビームで走行

し、必要に応じてこまめにロー
ビームに切り替える。

・かもしれない運転

を心掛けて

交通事故防

止に努めて

ください。



さて、次は「電話でお金詐欺

(特殊詐欺)」のお話です。昨年

は、長野中央警察署管内で、四

十八件の電話でお金詐欺の被害

が確認され、被害金額は、約三

億三〇〇〇万円にのぼっていま

す。被害金額は、令和四年の約

三倍です。安茂里地域へも、毎

日のように詐欺の電話がかかっ

てきており、複数の被害が確認

されています。詐欺は、決して

他人事ではありません。

詐欺被害のほとんどは、自宅
への固定電話にかかってきた一
本の電話から始まります。

詐欺被害防止のため、とにかく

く、自宅の電

話を留守番電

話に設定して、

相手が誰なの

か分かるまで

電話に出ない

でください。

もし、電話に出てしまっても、

「お金の話」になったら、それ

は全て詐欺の電話ですから、す

ぐに電話を切って警察へ連絡し

てください。

絶対に、知らない人に現金や

キャッシュカードを渡したり、

暗証番号を教えたりしないでく

ださい。

警察では、NTT東日本と連

携して「AIを活用した電話で

お金詐欺被害防止対策」を実施

しています。紙面の関係で詳細

な説明は割愛しますが、被害防

止に非常に有効な手段ですので、

興味のある方は、安茂里交番へ
お問い合わせください。



文化部だより

文化部下半期の活動について

文化部長 坂 田 良 二

今年度後半の文化部の二つの活動を報告させていただきます。

まずは、「作品展示会」です。

今回は小学生の書道等の展示はありませんでしたが、絵画や絵手紙、着物リフォームそして竹細工などで見たえのある展示会となりました。どの作品も手の込んだもので、作品を見た方からは「これほしいね。」などの声も聞かれました。また、出品者からは来年度もぜひ展示したいとの力強いお言葉もいただきました。次は「しめ縄づくり講習会と餅つき大会」です。

「しめ縄づくり」には「餅つき大会」に参加した大勢の親子も挑戦しました。子供たちは藁がしっかりと編めなかったり、せつかくまとまった縄が最後にほどけてしまったり苦労していましたが、大人のアドバイスもあり立派なしめ縄を作り、嬉しそうに持ち帰っていききました。日本の伝統行事である餅つきやしめ縄づくりで行事の背景にある文化や風習も学べたことと思います。

す。

最後に公民館の在り方が各地で問題になっています。この数年間公民館の役員を務めさせていただき、いろいろな事業を行ってきました。しかし、役員として苦労して開催したわりに事業への参加者が少ないなどの問題があります。参加者が少ないからいけないわけではありませんが、大勢参加でき活発な事業とはどんなものか、役員のみで考えるのではなく区民の皆さんで考える時期にきていると思います。

そして、高齢化や自然災害の発生など他人事ではありません。これからますます人のつながりが大切になってきます。そのためにも地域の皆さんが交流できる公民館活動は重要な役割を占めると思います。皆さんで知恵を出し合い活力のある取り組みで公民館活動を盛り上げていきましょう。



平柴長寿会の活動について

平柴長寿会長 鈴木博之

ここ数年新型コロナウイルスの影響により長寿会の活動も一部制限されておりましたが、今年度になって5類に変更されたことにより、やっと元の姿に戻りつつあります。一回／月の神社周辺草刈り、四回／年の公民館、公園等草刈りの主な活動内容に加え、春のお花見、忘年会等を再開し、年ごとに会話が少なくなる会員相互の親睦が図れるよう活動しております。

さらに、区、公民館主催のスポーツ大会、お茶飲み会、夏祭り、しめ縄講習会、文化祭等の行事にも積極的に参加し、会員の交流や地域の活力を維持させるべく活動してきました。

フレイル予防（アンチエイジング）の為には、食生活の改善はもとより、積極的に体を動かす汗をかく、大きな声で笑う等声を出す、集まりなどに積極的に顔を出す等々、いろいろなことが推奨されています。

ただ、皆様ご存知のように、「平柴は山手にある為、道という道がすべからく坂」であるた

め、足腰が衰えてきている会員にとっては、とても活動しづらい地域であることは否めません。そんな場所柄ではありますが、隣近所はもとより地域全体がお友達になれるような、潤いの感じられる地域造りの為には何ができるか、何をすべきか、このような課題に少しでも貢献できる活動ができれば、長寿会という組織も存在価値が出てくるのではないかとの思いを強く感じることです。

平柴全体が高齢化してきている中で、カラ元気でも出し続け、地域全体を皆で盛り上げていくことはありませんか、皆様のご参加をお待ちしております。



平柴公民館周辺の草刈り

民生委員・児童委員の活動は

民生児童委員 柳 沢 久 子

今日、家庭や社会が変化するなか、さまざまな生活課題を抱え、支援する必要がある人びとが増えています。高齢者、ひとりぐらしの方、障がい者、子どもを取り巻く環境において、虐待や犯罪の中で、社会的孤立や生活困窮への対応が課題となってきました。

さらに、相次ぐ地震や豪雨など自然災害においても、

非常時の支援が必要となる対応が課題となってきました。

民生委員・児童委員は、こんな活動をしています。見守りとして高齢者・ひとり暮らしの方、障がい者世帯への訪問、見守りのため訪問活動を行っています。

登下校時の見守りもしています。住民の居場所づくりのため、健康福祉部と協力し、『お茶のみサロン』も行っています。そして、行政や関係団体へのつなぎ、福祉サ-



ビスの情報提供をしています。行政等の依頼に基づき状況調査等にも協力しております。

誰もが暮らしやすい地域づくりをお手伝いするために、住民の立場から生活福祉全般に関する相談に応じ、行政や地域の支え合いにつなぐ役を担っていますので、声をかけてください。

詐欺に気を付けよう！

防犯指導員 西 澤 茂



日頃より防犯にご協力頂きありがとうございます

ございます。過去三年間はコロナ禍のため夜間防犯パトロールを中止しておりましたが、七月二十八日安茂里交番の所長さんと御同行して頂き関係役員さんと防犯指導員の合わせて九名にて夜間防犯パトロールを実施しました。

昨今、特に気を付けなければならぬことが詐欺ではないでしょうか？

頻繁に発生している手口は

① キャッシュカード詐欺盗

【こんな事を言ってみました】

・あなたのキャッシュカードが悪用されている

・封筒で保管（新しいカードに交換）が必要

【対策として】

◆暗証番号を教えない、メモしない

◆キャッシュカードを見せない封筒に入れない

◆渡さない

② 還付金詐欺

【こんな事を言ってみました】

・保険料、医療費の還付金がある
・今日中にATMで手続きが必要

【対策として】

◆ATMを使った還付手続きはありません

③ オレオレ詐欺

【こんな事を言ってみました】

・携帯、カバンをなくした
・税金を納めていない
・のどにガンができて病院にいる

【対策として】

◆必ず元々登録してある番号（家族の）に確認する

電話でお金の話になったら詐欺ではないかと疑って下さい。電話がかかってきてもすぐに出るのではなく留守番電話にしておき知っている方からでしたら掛けなおせば良いのです。もし知らない方からでしたら自分一人で決めず家族に確認して下さい。

自分は大丈夫だと油断しないで「お金・キャッシュカード」の話がでたら一旦電話を切り家族や警察にすぐ相談して下さい。
「お金は大切な財産です」

平柴区環境美化推進委員の活動について

環境美化推進会長 松下 明 夫



昨年四月に就任して初仕事は、安茂里地区住民自治

協議会環境部会への参加でした。殆どの方が初参加とのこと、年間の活動予定と安茂里地区の参加行事と「環境活動のてびき」の説明で始まりました。環境部会は年三回、河川清掃一回、ダンボールによる生ごみ堆肥化講座、視察研修各一回その他安茂里地区のアモレフェスタ、福祉バザーの参加との説明がありました。また「環境活動のてびき」については、ごみに関することについての解説及び補助金

申請についての解説が記載されているとの説明がありました。

五月は藤原副区長と二人、河川清掃に参加しました。清掃は工業高校の南側から新幹線の鉄橋までの堤防のごみ拾いをしました。犀川への水路の流入口には洗剤の廃容器等が多数散乱していて、拾える範囲のごみの回収をしました。また、堤防道路沿いで多数の家庭ごみの投げ捨てなどもあり、二時間ほどの作業でゴミ袋が山積みになりました。六月は平柴地区春の一斉清掃用のごみ収集袋の配布から始まり、遠藤塚下道路斜面の草刈り

及び清掃をしました。また、「ダンボールによる生ごみの堆肥化講座」に参加しました。ダンボールと生ごみに混ぜるばかりの配布があり、生ごみの堆肥化の説明とごみの減量の重要性についての講習がありました。

九月はリサイクルハウス及び第⑩ごみ集積所の扉の修理を業者に依頼、実施しました。また、平柴地区秋の一斉清掃用のごみ収集袋の配布及び春と同じ場所の草刈り及び清掃作業をしました。また、例年になく植物の成長の早さを感じました。第二回環境部会も開催され、秋のごみゼロ運動、アモレフェスタ・福祉バザーの参加、その他についての会議に出席しました。その他として、第⑥ごみ集積所のカラス除けネットが破損し

たこのことで確認し、購入補助申請をし、補助金で交換しました。また、第②ごみ集積所の建物の建替えの要望がありました。が、確認したところ、床の破損だけでその他の破損は見受けられなかった為、床の修理の補助金を申請し、業者に依頼して修理をしました。

活動内容としては、三月に開催される第三回環境部会の出席及び引継ぎだけとなりました。最後に平柴区の皆様にお呼びですが、集積所にごみ収集袋が回収されずに残っていました。また、清掃がされていない集積所が見受けられました。ごみ収集カレンダーの内容を熟知し、ごみ出しルールの厳守、ごみ出し時間及び集積所の清掃の徹底をお願いします。

育成部だより

育成会の活動について

平柴育成会長 西 沢 浩 一

平柴地区の皆様、平柴育成会会員の皆様には、一年間、平柴育成会を支えていただき、誠にありがとうございました。

平柴育成会、後期の活動として、公民館共催で十二月に「しめ縄作り、餅つき大会」と一月に「ボウリング大会」が行われました。

ただき、平柴地区の皆様との交流ができたことを大変うれしく思います。今年度、実現できなかったイベントもあり、育成会長として至らないところもありましたが、今後も育成会を盛り上げ、子どもたちの笑顔が増やせていけたらと思います。



ありがとうございました。

一年間、大変お世話になり、

活動報告と能登地震について

防災指導員 小林 祐 治

令和五年度
より防災指導
員に就任いた
しました小林と申します。皆様のお役に立つ
様努力したいと思えます。令和五年度活動内容について
報告します。

六月四日 平柴区防災訓練。

中央消防署安茂里分署と平柴消防団の指導協力により、消火器を使用した消火、人形を使用した心肺蘇生、AEDの使用方法について訓練しました。全員が積極的に参加し、実際の対応時の不安や疑問について協議出来たことは有意義であったと考えます。

六月十一日 安茂里地区地域防災向上研修。安茂里分署の指導で、自らの命は自らが守る意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しました。ハザードマップをみて自宅の災害リスクを知り、実際の災害時にとるべき行動を考えておくことが重要です。

九月十三日 安茂里地区防災

部会。安茂里地区住民自治協議会主催の会議で岡谷市豪雨災害地の視察研修の案内と令和六年に行う安茂里地区防災訓練の説明がありました。この防災訓練は原案ですが、白馬村を震源とするマグニチュード8と推定される震度6強の地震が発生したときの訓練となります。

令和六年元日には最大震度7の能登地震が発生しました。このとき長野市では震度5弱でした。震度5弱で恐怖を感じ、震度6弱で立っていることが困難とされています。気象庁の資料によると一九一九年以降長野市で震度5強の地震は十四回発生し、この内の九回は一九六六年松代群発地震でした。自分が子供の頃毎日

のように地震があったことを覚えています。震度6の地震は二回発生しています。一九四一年長沼地震、二〇一四年神城断層地震です。長沼地震は知りませんが、神城断層地震では平柴でも建物や道路に被害が発生したことを記憶しています。こうし

た地震に備えるために災害リスクを考えておくことは必要です。気象庁のホームページに「地震から身を守るために」の項目がありますので確認して頂きたいと思います。

(参考資料
気象庁データベース引用)

地震の発生日	震央地名	深さ	M	最大震度	長野市震度
2024/1/1	石川県能登地方	16 km	7.6	震度7	震度5弱
2018/5/12	長野県北部	11 km	5.2	震度5弱	震度5弱
2014/11/22	長野県北部	5 km	6.7	震度6弱	震度6弱
2007/7/16	新潟県上中越沖	17 km	6.8	震度6強	震度5弱
1967/10/14	長野県北部	10 km	5.3	震度5	震度5
1966/8/3	長野県北部	0 km	5.3	震度5	震度5
1966/5/28	長野県北部	0 km	5.3	震度5	震度5
1966/4/17	長野県北部	2 km	4.7	震度5	震度5
1966/4/17	長野県北部	0 km	4.7	震度5	震度5
1966/4/17	長野県北部	10 km	4.7	震度5	震度5
1966/4/11	長野県北部	2 km	4.7	震度5	震度5
1966/4/5	長野県北部	0 km	5.4	震度5	震度5
1966/2/7	長野県北部	0 km	4.9	震度5	震度5
1966/1/23	長野県北部	3 km	5.1	震度5	震度5
1941/7/15	長野県北部	5 km	6.1	震度6	震度6
1923/9/1	神奈川県西部	23 km	7.9	震度6	震度5



令和 6 年(2024) 1 月 6 日 安茂里地区成人式 於 長野市立安茂里公民館

成人を迎えて

小林 輝

まだ息が白く濁るような寒さが続く日々の中、桃色の蕾が顔を出し、春の訪れを感じさせる今日この頃、私は成人を迎えました。

ですが、その中で元旦にありました能登半島地震。被災した方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早くのご復興をお祈り申し上げます。

さて、先日の成人式では、旧来の友と五年振りに会い、互いに成長した姿を見、感慨深く感じました。成人式後の同窓会は、成人の名を借りた放課後の遊びでありました。

こうしてお酒を飲める年齢になり、遊び方も変わっていきますと、なんだか寂しい気持ちにもなります。放課後に友達とグラウンドでサッカーをして駆け回ったり、DSを持ちよってゲームをしたり、友達の家に泊まりに行き、遅くまで起きていて母親に怒られたり…。

今になってあの頃の時間の大切さが身に染みます。

しかし、これからの期待ももちろんございます。成人を迎えたといえ、大人の仲間入りをしたというだけ。

私たちはまだ未熟です。これから色々な事を学び、どんな人間になるのか、自分にも全く分かりません。だからこそ楽しみなのです。

辛いことや悲しいこと、逃げ出したくなることもあるでしょう。近頃社会に触れるようになってから、現実の厳しさを身をもって分かちられています。『成人』という言葉から逃げ出したとしても思いましたが、それでも、私たちは生きていかないとはいけないのです。

生物は世代間に渡り、生と死を繰り返して生き残れるように進化していきます。ここ数年で環境が変わって行っているこの地球で、人類がいつ滅ぶか分かりません。私たちは何かを生み出す



していかなくてはならないのです。その為に学び、今のスタート地点に立たされたのです。他を尊重し、他と違うことをする。誰がゴールテープを切るか誰にも分かりません。誰もが人との繋がりを大切にし、人に優しくできる世界であることを信じています。

最後になりますが、これまで見守り育てて下さり、大切なことを教えてくださった両親、平柴の地域の方々に、深い尊敬と感謝の意を持って、これを閉じたいと思います。ご一読ありがとうございました。



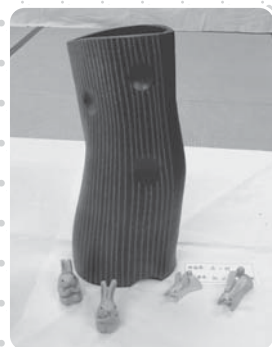
9 月 16 日
敬老祝賀会

思い出の フォト アルバム

9 月 30 日
人権教育研修



11 月 5 日 作品展示会





12月 2 日
しめ縄づくり講習会

12月 2 日
餅つき大会



1 月 6 日
成人祝賀式

1 月 14 日
新年娯楽大会



令和 6 年度
区長および各種団体役員名簿

区 長	松 下 明 夫
副区長 (総務)	藤 原 幸 雄
副区長 (会計)	藤 原 一 彦
第一部長	藤 原 光 治
第二部長	天 野 利 公
第三部長	藤 原 正 浩
第四部長	坂 田 良 二
第五部長	藤 原 博
第六部長	小 林 善 治
長寿会 長	細 野 正 昭
氏子総代	藤 原 尊 雄
	中組・中屋敷 弥 勒 寺
	中組・夏目原 嶺・夏目原
民生児童委員	鈴 木 武 彦
公民館 長	柳 沢 久 子
育成会 長	細 野 光 江
防犯指導員	西 川 茂 樹
	西 村 洋 介
	岩 崎 直 美
	小 林 祐 治
防災指導員	下 崎 明 久
消防班 長	石 坂 高 志
交通安全推進員	西 沢 り え
交通安全協会分会長	鎌 田 実
環境美化推進会長	藤 原 幸 雄
健康・福祉推進員	石 田 紀 子
	小 林 圭 子
	佐 原 貴 子
	福 田 久
少年育成員	鈴 木 晃
白バラ会	前 田 美 智 子
	島 田 百 合 子

令和 6 年度
平柴公民館役員名簿

館 長	續 茂 樹
副 館 長	藤 原 義 照
会 計 主 事	吉 池 い わ 子
文 化 部 長	桜 井 克 志
文 化 副 部 長	小 林 潤
体 育 部 長	藤 原 弘 樹
体 育 副 部 長	西 村 崇
育 成 部 長	西 川 洋 介
育 成 副 部 長	伊 藤 啓 太
事業運営員	青 木 信 博
小 林 新 樹	原 山 勝 利
川 口 健 二	原 山 健
齊 藤 直 美	藤 原 宗 吉
運営審議委員長	藤 原 明 夫
運営審議委員	松 下 一 彦
藤 原 幸 雄	藤 原 浩 二
小 林 桂 三	山 口 次 敏
岩 崎 秀 男	新 村 次 敏

令和 5 年度公民館収支決算書

収 入 額	999,712円
支 出 額	440,537円
差引残額	559,175円

収入の部		支出の部	
繰 越 金	604,306	文 化 部	156,905
各 戸 負 担 金	268,000	体 育 部	49,148
交 付 金	78,250	総 務 部	174,484
区 助 成 金	20,000	区 へ の 負 担 金	30,000
雑 収 入	29,156	育 成 部 助 成 金	30,000
合 計	999,712	合 計	440,537

令和 6 年度事業計画

5月26日(日)	安茂里地区 スポーツの祭典
6月8日(土)	交通安全教室
7月20日(土)	防災対策講座
8月14日(水)	納涼夏祭り
8月25日(日)	安茂里地区 囲碁・将棋大会
9月21日(土)	人権教育研修
10月1日(火)	公民館報発行 (87号)
10月20日(日)	史跡めぐり (区民の集い)
11月10日(日)	作品展示会
12月7日(土)	しめ縄つくり講習会・ 餅つき大会
1月4日(土)	安茂里地区成人祝賀式
1月12日(日)	新年娛樂大会
2月2日(日)	安茂里地区 囲碁・将棋大会
3月31日(月)	公民館報発行 (88号)

編集後記

公民館報第86号の発行にあたり、ご寄稿いただきました区長様、成人祝賀式を迎えられた皆様をはじめ、地区の役員の皆様に御礼を申し上げます。

昔ながらの良い点を公民館活動にも生かせたいと考えていましたが、何もできませんでした。ただ、納涼夏祭りに多くの子供たちが来てくれたことがとてもうれしかったことです。子供は地域の宝です。

そうはいっても高齢化の社会です。足は第二の心臓と言われていきますので、健康に留意され元気に地域を歩いていただきたいと思います。

公民館の役員の活動はボランティアと一緒に。仕事を持っている人は、毎回参加することはできなくても当然です。公民館活動は、役員のものではなく、地域の人たちのものです。地域住民の皆で盛り上げていくことが大切だと考えています。

今後も平柴地区がより発展し住みよい地区となることを祈念しております。

令和五年度公民館長

新 村 次 敏